

始まります。完全学校週5日制。

毎週土曜日が休み。子どもたちはどう変わる？

いよいよ4月から、毎週土曜日を休みとする『完全学校週5日制』が、全国すべての学校で始まりま。子どもたちの学校外での時間が、増え、家庭や地域での教育機会がこれまで以上に重要になります。学校の授業も、ゆとりの中で、子どもたち一人ひとりの「生きる力」を育てるために、教育の内容が変わります。

保護者の方々にとっては不安な面があるかと思いますが、本趣旨を的確に見極め、子どもたちと向き合い、導いていくことが求められます。

子どもたちの

「生きる力」を育てるため

完全学校週5日制で、毎週土曜日が休日になり子どもたちにとっては、とてもうれしいニュースでしょう。何といっても、休みの日は、家庭や地域で学校の授業とは全然違うことを体験したり、自分の好きなことを思い切りしたりする絶好のチャンス。毎週土曜日が休みの現在でも、ほとんどの子どもたちが、土曜日の休みを有意義で楽しんでいるようです。

「休日が増えたら勉強の時間が減って、子どもたちの学力が落ちてしまうのでは」と心配する方もいますが、子どもたちの学びの時間は年中無休です。家庭や地域で過ごす時間も、子どもたちはそこの活動や体験を通して、さまざまなかたちで学

んでいるのです。子どもたちは、それぞれの教科の知識だけでなく、生活の中で必要なルールや思いやり、やさしさといった内面的なものも学ばなければなりません。それらは、学校だけでなく、家庭や地域社会など、生活全体で学ぶものです。道徳観や正義感などは、家庭や地域社会での活動や体験が豊かであるほどしっかりと身につけているようになります。

完全学校週5日制は、子どもたちが豊かな体験によって、豊かな心を育てるよう、家庭や地域でのさまざまな体験活動などの機会をもっと増やしていくことが重要です。そして、学校、家庭、地域社会が互いに協力し、一人ひとりの子どもたちに「生きる力」を育ててをわらうとしています。

Q

完全学校週5日制になると、子どもたちの生活が不規則になったり、塾通いが多くなったりするのはありませんか？

A

完全学校週5日制は、子どもたちが、土・日を利用して、家庭や地域社会の中で生活体験、社会体験、文化・スポーツ活動など、さまざまな活動や体験を行うことにより、望ましい人間形成を図るためのも

中学校では…

小学校教育の基礎のうえに、社会生活に必要な基礎的・基本的な内容を確実に習得させるとともに、選択学習の幅を拡大し、個性を伸ばします。必修教科に外国語を追加。教科は、これまでの必修教科、選択教科、道徳、特別活動に「総合的な学習の時間」が加わります。

新学習指導要領のポイント

- ①豊かな人間性や社会性、国際社会に生きる日本人としての自覚を育成する。
- ②自ら学び、自ら考える力を育成する。
- ③ゆとりのある教育活動を展開する中で、基礎・基本の確実な定着を図り、個性を生かす教育を充実する。
- ④各学校が創意工夫を生かし、特色ある教育、特色ある学校づくりを進める。

新しい学習指導要領が

目指すもの

完全学校週5日制になって、土曜日の休みが増えた分、学校での授業時間は減りますが、授業の内容はどのようになるのでしょうか。

文部科学省が、学校・学年ごとに教えるべき内容を定めた『学習指導要領』も、完全学校週5日制に併せて改訂されています。新しい学習指導要領では、ゆとりの中で、子どもたちに「生きる力」を育成することを基本的なねらいとし、次のような点が大きく変わります。

完全学校週5日制で教育を行うため、授業時間は、これまでより過当たり2単位時間少なくなります。

◆教育内容

すべての子どもたちが共通に学ぶ内容は、社会生活を営むうえで必要とされる基礎的・基本的な内容に厳選することにも、子ども一人ひとりが興味・関心等に応じて選択できる幅を拡大しています。これにより、子どもたちがゆとりの中でじっくり学習し、基礎・基本を確実に身につけることができるようになります。

◆総合的な学習の時間 新設

子どもたちが社会の変化に対応し、たくましく生きていくためには、教科等で学んだ知識を用いて自ら課題を発見し、自ら学び、自ら考える力が不可欠です。そうした力を育てるために、体験的な学習や問題解決的な学習を重視する、「総合的な学習の時間」が新設されました。総合的な学習の時間では、各学校が創意工夫を生かした特色ある教育活動が展開されます。

こんなところが変わります。



ゆとりの中で、基礎・基本を確実に習得させるため、共通に学ぶ教育内容を厳選

「総合的な学習の時間」を新設し、体験的・問題解決的な学習を実施



のです。受験勉強だけをしていたり、何もなかったりするのでは、学校週5日制の趣旨が生かされません。子どもたちが学ぶ場は、学校や塾だけではありません。家庭や地域、塾関係者なども学校週5日制の趣旨を理解し、子どもたちが豊かな体験ができるよう、地域の大人たちが協力して対応する必要があります。



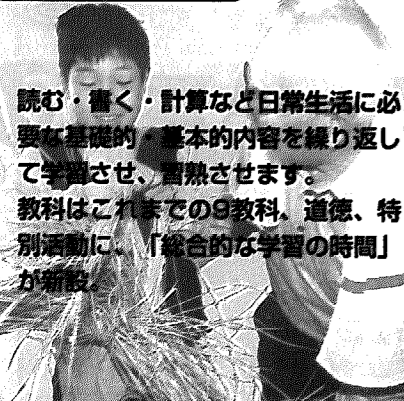
校長先生にうかがいました。

岩室小学校
校長 星野 駿三郎

- Q1. 家庭に望むことは？
子どもの発達に合わせた、各家庭の指導育成計画の作成。
- Q2. 地域に望むことは？
・地域の集会場等を、子どもの自主的な活動の場として提供してほしい。
・地域の行事へは、準備の段階から親子で参加できるようにしてほしい。
- Q3. 教師と児童のかかわりは変わりますか？
ゆとり教育が進めば、子ども一人ひとりのよさが分かるようになり、子どもは個性を発揮できることになり、かかわりは深まる。
- Q4. 学校行事等の土、日、休日開催は、今後どのような形態が理想ですか？
関係法令、条例、規則等の見直しがあると思われるが、児童の負担を考えると、平日開催に移行するのが望ましい。
- Q5. 児童はどう変わっていくと思いますか？
個性化がますます伸長されていく。

完全学校週5日制の実施に伴い
授業時間数がこれまでより短縮

小学校では…



読む・書く・計算など日常生活に必要な基礎的・基本的内容を繰り返して学習させ、習熟させます。教科はこれまでの9教科、道徳、特別活動に、「総合的な学習の時間」が新設